



2020年2月14日

各位

会社名 ソフトマックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 永里 義夫
(コード番号: 3671 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役管理本部担当 濱 平 耕 一
(TEL. 099-226-1222)

2019年12月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2019年2月8日に公表いたしました2019年12月期通期の業績予想につきまして、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期通期個別業績予想数値と実績値との差異 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,750	400	422	268	44.98
実績値 (B)	4,332	405	429	270	45.39
増減額 (B-A)	582	5	7	2	
増減率 (%)	15.5	1.3	1.7	0.7	
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期)	3,321	252	276	175	29.39

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株あたり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

当事業年度の売上高につきましては、メインユーザーである医療機関のIT導入ニーズの高まりを背景に、期初見込んでいたものを上回るソフトウェア導入の受注を獲得できたことに加え、ソフトウェアの仕様追加、ハードウェアの更新などの新たな案件も売上計上となったことにより、当初の予想を15.5%上回ることとなりました。

一方、受注の増加に対応した導入要員の外注委託費用が増加し、期初の段階では想定していなかった外注費の計上があったため、売上高に対する利益率は若干下がることとなり、利益面では、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも微増にとどまりました。

以上